

龍ヶ崎市道の駅整備事業の再検証(今後の方向性)について

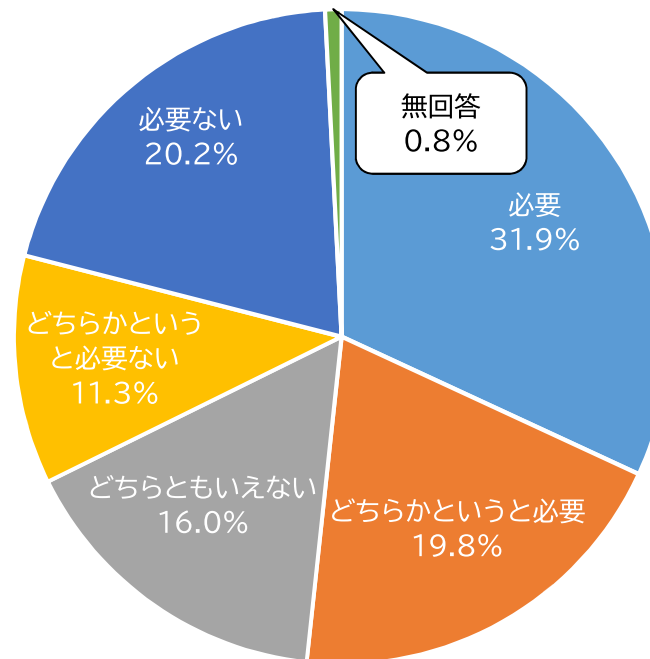
令和5年3月24日

道の駅整備事業に関するアンケート結果の抜粋（その1）

アンケート実施期間：令和4年11月7日から令和4年12月28日まで

【問7】牛久沼の水辺環境を活用した にぎわいづくりは必要だと思いますか。

選択肢	実数	割合
必要	546	31.9%
どちらかという必要	339	19.8%
どちらともいえない	274	16.0%
どちらかという必要ない	193	11.3%
必要ない	346	20.2%
無回答	13	0.8%
合計	1,711	100.0%



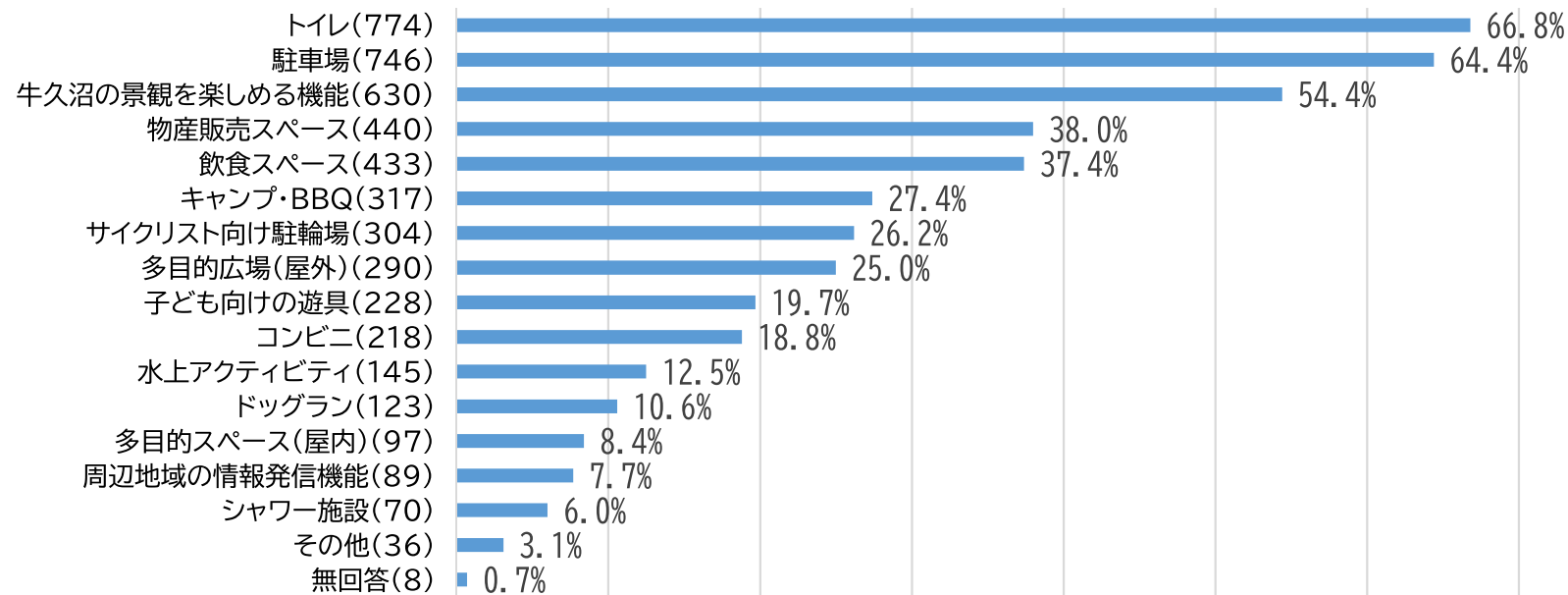
牛久沼の水辺環境を活用したにぎわいづくりの必要性について、「必要」、「どちらかという必要」の合計値が51.7%、「どちらかという必要ない」、「必要ない」の合計値が31.5%となっており、「必要」、「どちらかという必要」が20.2ポイント高くなっています。

道の駅整備事業に関するアンケート結果の抜粋（その2）

アンケート実施期間：令和4年11月7日から令和4年12月28日まで

【問9】牛久沼のにぎわいづくりのために あったらよいと思う機能（必要な施設）をお答えください。 （複数選択質問）

※【問7】「牛久沼の水辺環境を活用した にぎわいづくりは必要だと思いますか。」の質問に対して、「必要」、「どちらかという必要」、「どちらともいえない」のいずれかを選択した方（n=1,159）の回答結果です。



牛久沼のにぎわいづくりにあたらよいと思う機能については、「トイレ」が66.8%で最も高く、次いで「駐車場」が64.4%、「牛久沼の景観を楽しめる機能」が54.4%、「物産販売スペース」が38.0%、「飲食スペース」が37.4%の順になっています。

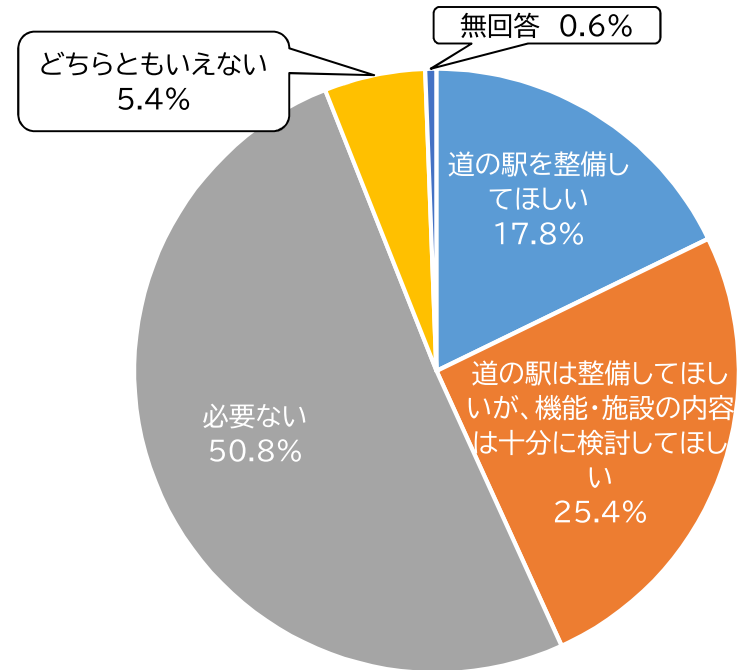
その他(36)の回答は、温浴施設・スパ(3)、釣り・レンタルボート(3)、キッチンカー(2)、車中泊できる機能(1)、バイク用駐輪場(1)、農業体験・歴史体験(1)、散歩道、自転車道(1)、夏場に日差しから逃げられる場所(1)、図書館(1)などとなっています。

道の駅整備事業に関するアンケート結果の抜粋（その3）

アンケート実施期間：令和4年11月7日から令和4年12月28日まで

【問11】道の駅整備について どのように感じていますか。

選択肢	実数	割合
道の駅を整備してほしい	304	17.8%
道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい	435	25.4%
必要ない	869	50.8%
どちらともいえない	93	5.4%
無回答	10	0.6%
合計	1,711	100.0%



道の駅整備についてどのように感じているかについては、「必要ない」が50.8%、「道の駅を整備してほしい」、「道の駅は整備してほしいが、機能・施設の内容は十分に検討してほしい」の合計値が43.2%となっており、「必要ない」が7.6ポイント高くなっています。

市議会議員18名からの提言（抜粋）

令和4年9月16日付け

龍ヶ崎市道の駅整備事業については、まずは地域唯一無二の景観を有する牛久沼に対する意識の向上を図ることを念頭に、牛久沼の「水辺」「自然」「夕陽」を生かし、市民が憩い、豊かな自然環境を感じる場、牛久沼を望む安らぎの場、地域資源を活用した賑わいの場として整備するよう、以下のとおり提言します。

- 1 人が安全に憩える環境(駐車場・トイレの整備、水辺の安全確保等)整備に努めること
- 2 整備にあたっては、国・県の補助事業の活用にも努めること
- 3 国等のソフト事業や民間活力を活用し、賑わいの創出に努めること

市民のニーズを考慮した道の駅整備事業の見直し

市民などから寄せられた声、
求められている事

- 道の駅整備にかかる事業費の減額
- 物販施設及び飲食施設の安定した運営を心配する声
- 牛久沼の水辺環境を活かしたにぎわいづくり
- 牛久沼のにぎわいづくりに必要な機能はトイレ、駐車場、牛久沼の景観を楽しむ機能が上位

など

市整備（地域連携機能）



物販及び飲食を主体とした
地域振興施設の整備

※民間主導での
可能性を模索



牛久沼の水辺・自然・夕陽を活かした
地域振興を図る空間の整備

国整備（休憩機能）



トイレ

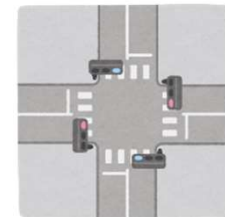
駐車場

国整備（情報発信機能）



情報

国整備（交差点）



牛久沼の水辺・自然・夕陽を活かした地域振興を図る空間の整備をした場合、市民から求められている「牛久沼の有効活用」と「にぎわいの創出」が図られるとともに、「事業費の減額」が図られます。

また、道の駅として国と一体型による整備を継続した場合、市民が求める「休憩機能の整備」に加えて、「情報発信機能の整備」や、牛久沼活用に向けた当該敷地利用に重要な「安全に出入りできる交差点」が国の事業によって整備されます。

地域振興施設(機能)を縮小した『道の駅』



【道の駅の登録に必要な機能】

休憩機能：24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能：道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能：文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

牛久沼の水辺・自然・夕陽を活用した地域連携機能

- 牛久沼トレイルの拠点
- 牛久沼の水辺環境を活用、体験する場
- 牛久沼の景勝ポイント など



休憩機能



情報
発信機能



「道の駅」として整備し、「龍ヶ崎市の牛久沼」の魅力を内外へアピール

『道の駅』として登録され、広く周知されることとなり、市の認知度アップに繋がるものと期待できます。

地域振興施設（機能）を縮小した『道の駅』の整備イメージ（想定）

※国との一体型整備

<整備コンセプト>

本市の貴重な地域資源である牛久沼のほとりに、にぎわいと交流の拠点となる道の駅を整備し、まちの活性化と市の認知度アップを図る。

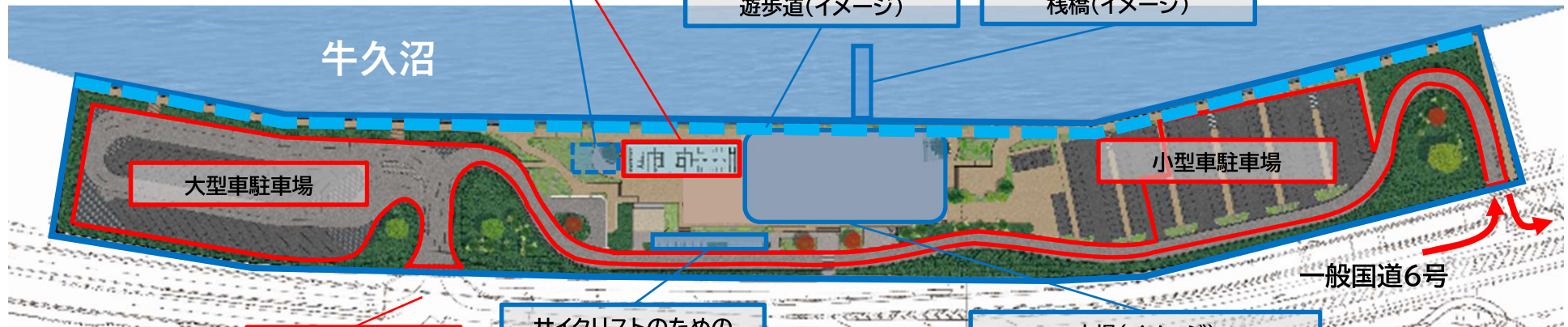
トイレ休憩施設
情報提供施設
子育て支援施設



遊歩道(イメージ)



栈橋(イメージ)



牛久沼

大型車駐車場

小型車駐車場

一般国道6号

交差点(イメージ)

サイクリストのための
駐輪場(イメージ)

広場(イメージ)

凡例

国整備

市整備



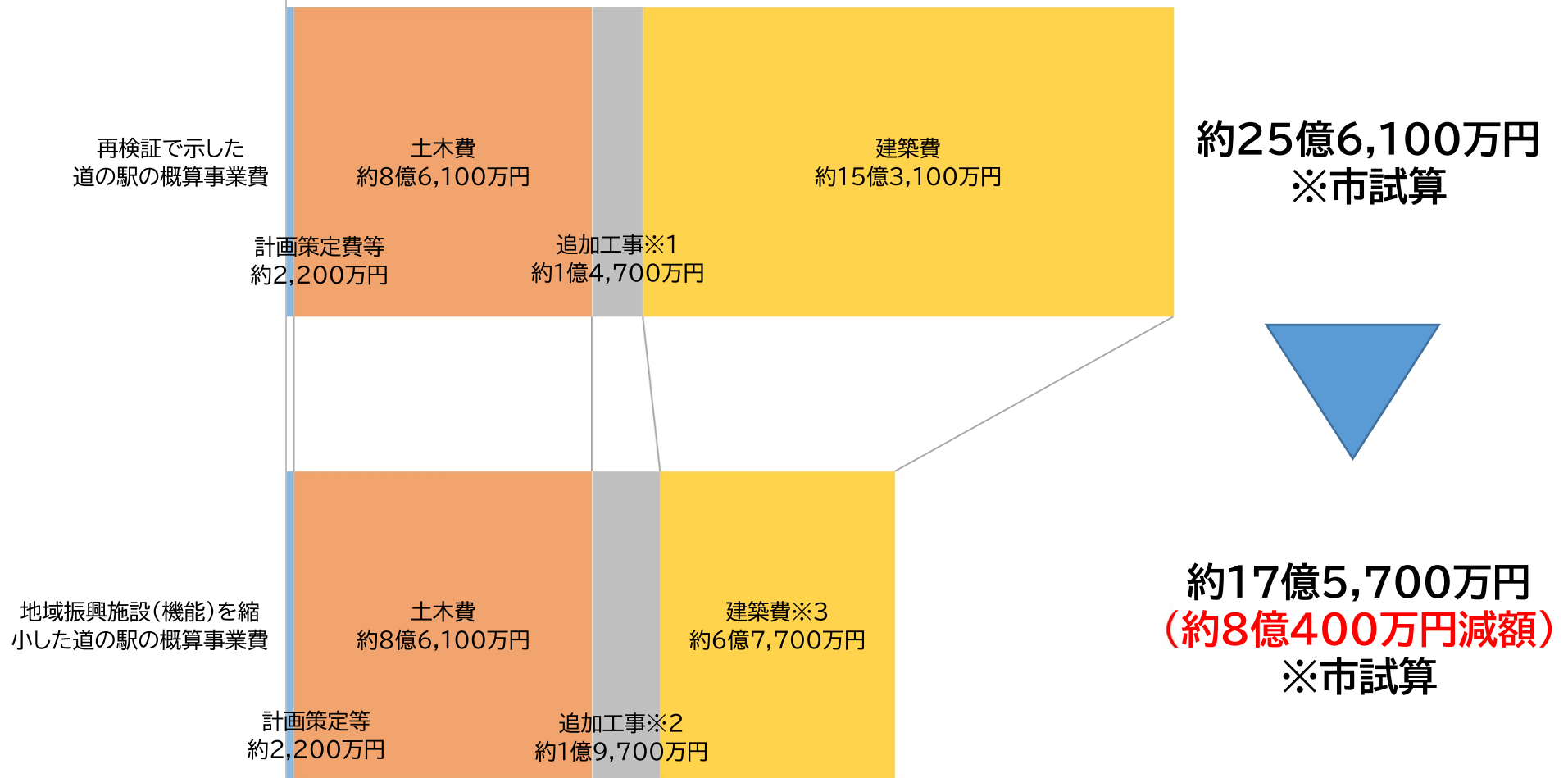
<地域の課題>

- 龍ヶ崎市には「牛久沼」「龍ヶ崎コロッケ」「龍ヶ崎トマト」などの地域資源があるが認知度が低い
全国順位543位(対1,000自治体)
出典:地域ブランド調査2014
- 観光資源が豊富とはいえない当市にあって、貴重な地域資源である牛久沼を活用した認知度の向上、交流人口の増加が課題

<牛久沼を活用した整備のイメージ>

- 牛久沼、夕陽、富士山、筑波山などの自然豊かな景観を活かし、水辺を歩いて楽しむ遊歩道や広場、水辺に座ってくつろげる空間を整備
- 牛久沼の水辺環境を活かし、水上スポーツ(SUPやウィンドサーフィンなど)やサイクリストの拠点となる施設(栈橋、駐輪場など)を整備
- 授乳室などの子育て支援機能、牛久沼に関する情報を展示するスペースなどを備える施設を整備
- 地元野菜や商工品を販売するトラックマーケットやキッチンカーなどを誘致することができる空間を整備

概算事業費の比較

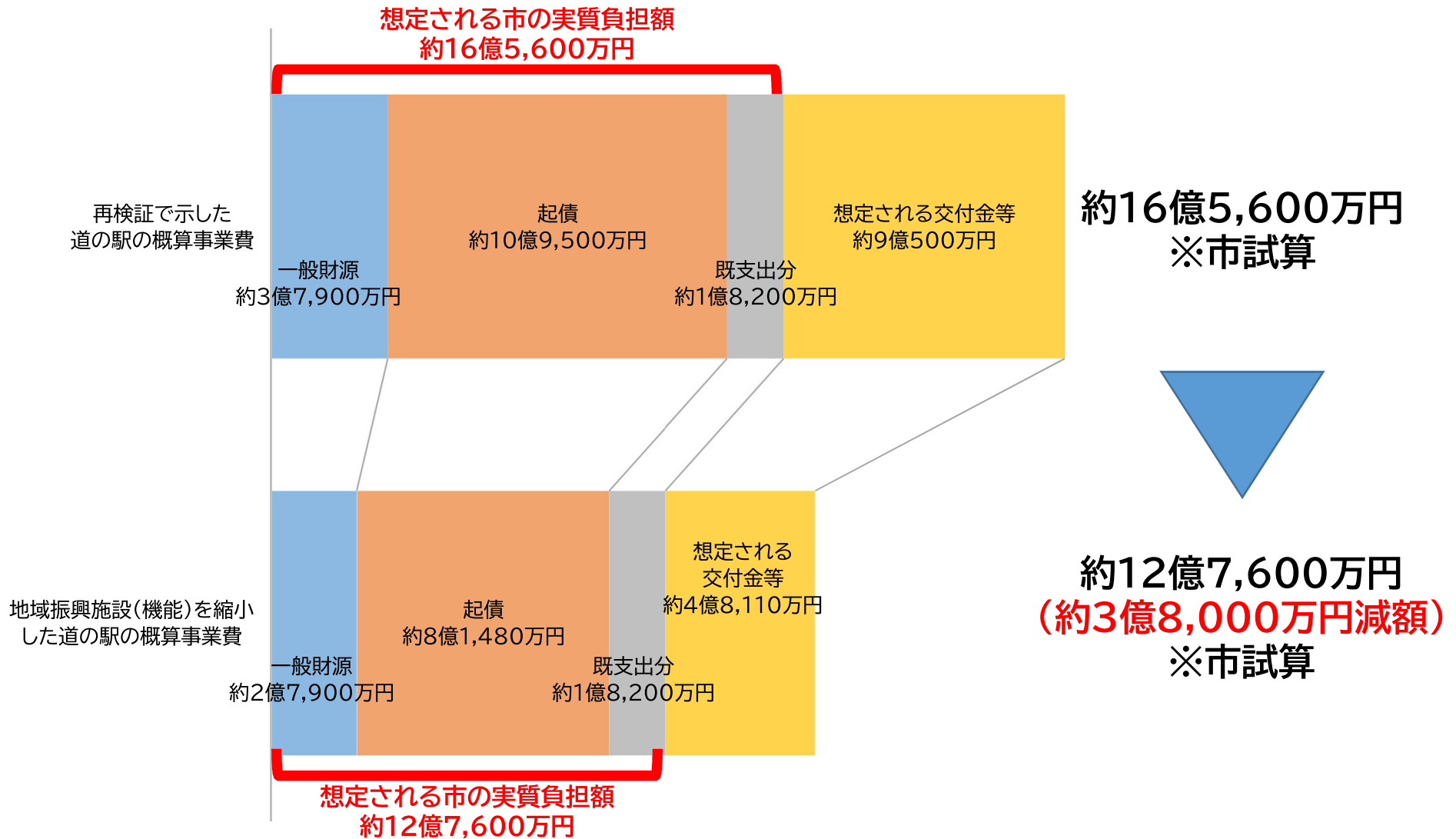


※1追加工事は、場外の上下水道工事など基本計画策定時に見込んでいなかった工事等です。

※2追加工事は、場外の上下水道工事など基本計画策定時に見込んでいなかった工事等に加えて、水上スポーツ等の乗り入れなどに利用する栈橋の設置を想定し、約5,000万円増額しています。

※3建築費は、地域振興施設(機能)を縮小することで再検証時から約8億5,400万円減額されます。

想定される市の実質負担額の比較



想定される市の実質負担額は、地域振興施設(機能)の縮小に伴う概算事業費の減額により、約3億8,000万円減額されます。

他の政策的事業を踏まえた事業スケジュール（想定）

大規模事業と道の駅の整備スケジュール(想定)

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
新保健福祉施設整備						
佐貫3号線整備						
長戸コミュニティセンター建替え（道路含む）						
新学校給食センター整備						
施設一体型小中一貫モデル校整備						
森林公園再整備						
	協議・調査など	協議・調査など	護岸改修工事	道の駅整備 場外上下水道工事	土木・建築工事	開設目標

【協議・調査などの内容】

- 地域振興施設の具体的な検討
- 護岸整備に係る県協議(関連で国協議含む)
- 地域振興施設(物販・飲食)のサウンディング調査など

道の駅整備は、他の政策的な事業の進捗を踏まえ、令和7年度に整備地の護岸改修工事を想定しています。
※現在想定しているスケジュールは、今後の協議などにより変更となる可能性があります。